

まず、生コン業界が先駆者となりましょう！ 生理休暇の有給化へ

母も、娘も、女性労働者も、約40年間・3000日生理で苦しみます！



約3割の女性を苦しめる 仕事に支障の出る生理痛

生理時には、下腹部や腰の痛み以外に、ホルモン減少による頭痛や吐き気、疲労、貧血、めまいなどもあります。生理痛には個人差がありますが、薬を飲んでも仕事ができない人が2.8%、薬を飲んでなんとか仕事ができる人が25.8%。つまり、約30%もの女性が「仕事に支障が出る生理痛」に悩まされているのです。



生理時の身体の冷えこそ が痛みを拡大する原因！

「冷え」の状態は、血行を悪くして、経血をうまく体外に出せなくします。その際に子宮が収縮して痛みを脳に伝達する物質「プロスタグランジン」の分泌量が増加。それによって痛みが増すのです。
生コン労働者の作業も身体を冷やすことが多いはず。経営者の認識と配慮が必要です。



生理休暇が無給の現状と 社内の無理解が重要課題

医学上なくてはならない生理を隠したり、痛みに耐えて自分の身体を大切にしない現状をつくりだしたのは過去の誤った教育の影響です。そして周囲もその辛さを知る機会がなかったからです。
女性が安心して生理休暇を活用できるようになるには、有給化と同時に周りの理解や温かい配慮が必要です。



健康管理では避けられない 出産に不可欠な自然現象

生理は、風邪などの病気のように健康管理をして避けられるものではありません。反対に生理は出産に必要な生理現象です。女性が妊娠・出産・子育てするということは、社会に貢献する労働者を作り出すという事でもあるのです。男性の多い生コン業界だからこそ生理休暇の有給化の理解と賛同を求めます。



★ ACTION! ★

生理休暇の有給化を！

RENTAI UNION
青年女性部

連帯ユニオン関西地区生コン支部

TEL 06-6583-5546
www.rentai-union.com

◇ 無理をして働くと出産時の異状や胎児の健康に影響があると実証されています



厚生労働省に4点を提起

1. 中小企業の生理有給休暇に関する実態調査。
2. 事業主に対し、生理休暇がある事や、取得した方が女性労働者の健康や母性保護になることを啓発するキャンペーン。
3. 生理休暇を有給で取得できる企業を増やす。
4. 生理休暇を有給取得できるよう法改正する。

生理休暇は母性保護の基本的な要求です

福島副党首と厚生労働省に申し入れ

ほとんどの職場で生理休暇は無給であり、人手不足のため有給さえ満足にとれていないのが現状です。

労働基準法では、「生理日の就業が著しく困難な女子に対する措置」として、生理によって女性労働者が生理休暇を申請した場合は、その申し出を却下する事を禁じています。

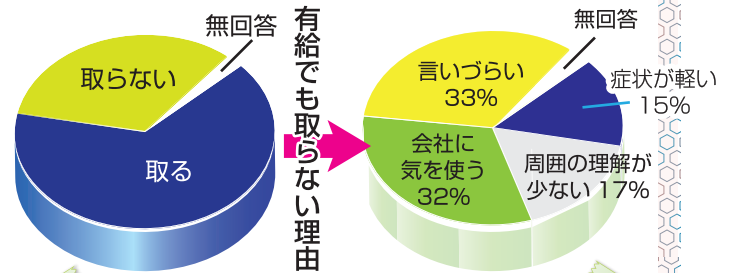
しかし、生理休暇の存在自体が知られていなかったり、知っていても言い出しにくい職場環境であることがほとんどです。また、賃金保証がないために、とくに非正規やシングルマザーの女性は辛くても休めない状況です。

連帯ユニオンは、生理休暇の賃金保証を義務付けるよう法改正を求めて厚生労働省に要請を行いました。要請には社民党の福島みずほ副党首の同席のもと4点を提起しました。

こんな問題点も発覚

青年女性部独自アンケート(1278名)

「あなたは生理休暇が有給なら取りますか？」



女性が生理休暇を使いやすい会社を増やしてほしい・・・。

私が就職したS生コンでは、生理休暇の有給取得について、既に40年程前に集団交渉で協定書が交わされていました。そのため、私は安心して生理休暇が取れて本当に助かりました。

この運動に各職場が向きあい、実現することが女性労働者が働きやすい環境づくりの第一歩になるはずですよ。



生コン企業では、就業規則や協定書で生理休暇の賃金保証を行なう企業が増加中！この先進的な成果を対外的に打ち出し「社会に誇れる生コン業界」をPRしましょう！

生理休暇の問題点を見直す学習会を開催！

連帯ユニオンでは、青年女性部が中心となって生理休暇の周知徹底や課題である賃金保証実現に向けて取り組んでいます。この取り組みには、職場や家庭で生理痛で苦しむ女性以外の理解が必要不可欠です。そのために、生理休暇の学習会を継続して行なっています。

3月22日には、協同会館アソシエにて「生理休暇をもう一度見直そう！」をテーマに学習会を開催。参加者の大きな反響を呼びました。

生コン業界が手本に！



圧倒的に男性の多い生コン業界。そんな生コン業界こそが、他業種の先駆けとなり、女性の社会進出に向けた母性保護の取組みを労使で行なっていくましよう。